



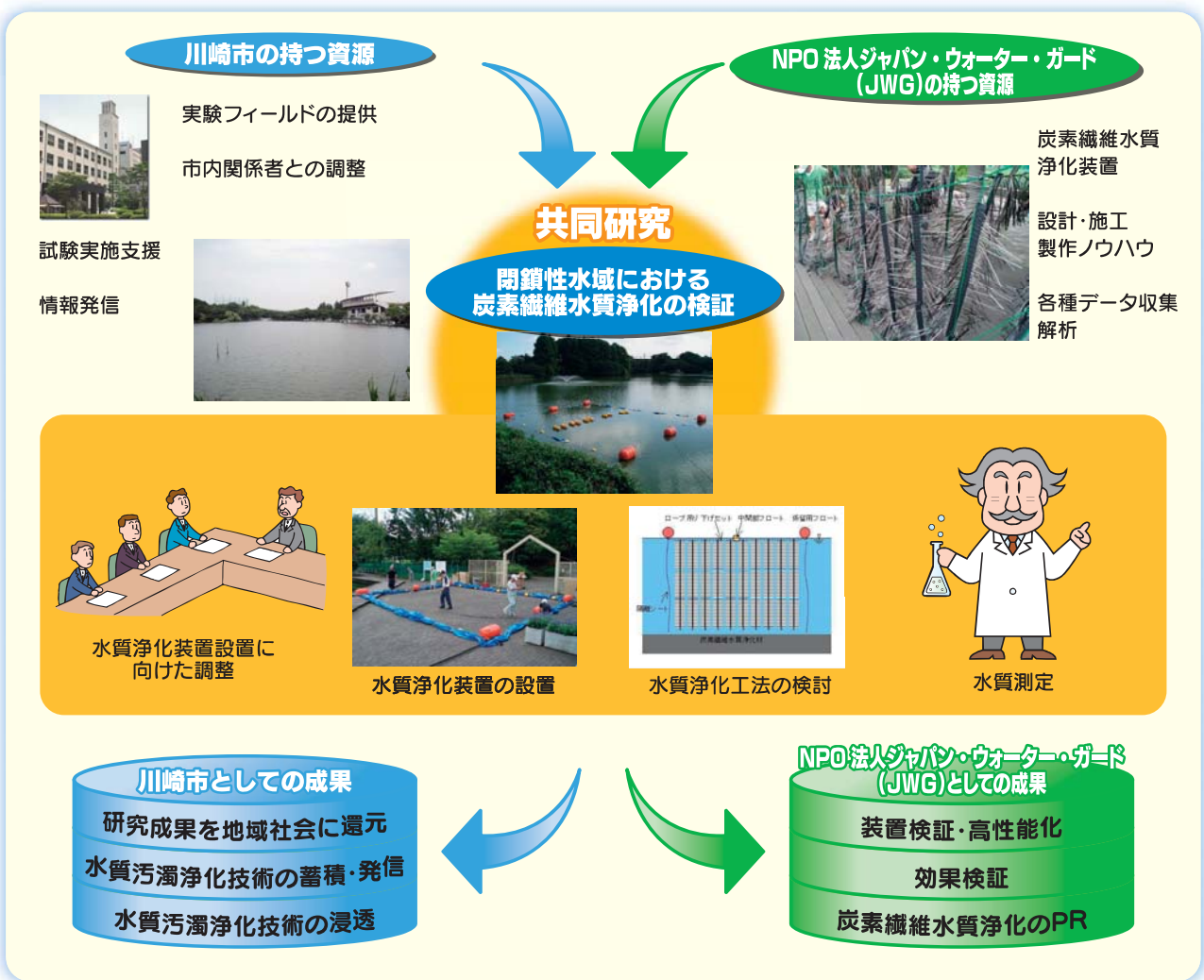
炭素繊維による閉鎖性水域の水質浄化工法の研究

共同研究者: NPO法人ジャパン・ウォーター・ガード (JWG) ・川崎市

概要 閉鎖性水域の水質汚濁問題解決の技術開発に向け、炭素繊維水質浄化材ロープ吊り下げセットを効率よく設置できるように炭素繊維水質浄化装置「ロープフローティングユニット」を設計製作しました。同装置を、水質汚濁の問題を抱える閉鎖性水域に設置し、定期的に水質測定や経過を観察しながら、水質浄化装置の有効性・耐候性の検証、水質浄化効果の検証を行うことにより、炭素繊維による閉鎖性水域の水質浄化工法の研究開発を進めました。

川崎市は適用フィールドの提供、試験実施支援等を、ジャパン・ウォーター・ガードは「ロープフローティングユニット」の施工、炭素繊維水質浄化効果等の検証を担当しました。具体的には、等々力緑地釣り池をフィールドとし、平成21年7月から装置を設置し、データを取得しています。

研究成果は閉鎖性水域の水質汚濁問題解決の糸口になるものと期待されます。



共同研究に参加した感想
閉鎖性水域の水質浄化対策として、炭素繊維による水質浄化装置の効果と設置技術の検証を共同研究により公共水域にて行い多くの成果を得られました。今後、得られた情報を基にさらなる研究・改善にて、国内はもとより水質汚染による世界の水危機に役立てたいと思います。

共同研究者概要
企業名: NPO法人ジャパン・ウォーター・ガード
所在地: 群馬県高崎市
設立: 2006年1月
活動概要: 水環境をまもり豊かな水辺を取り戻すための研究開発、実践活動を行う。



共同研究に参加した感想
経済的かつ効果的な環境負荷を軽減した閉鎖性水域の水質改善を川崎をフィールドに取り組んでいるところです。得られた研究成果をここ川崎から発信し、国内外の環境改善に貢献していきたいと思っています。